

キャリア・スタート・ウィーク

6月20日～24日、キャリア・スタート・ウィークが開催され、市内の中学校2年生が事業所などでの職場体験を通じて、「働くこと」「生活すること」「自分の夢を実現すること」を学びました。また、地域の人と交流することで、人と関わる喜びを実感し、社会での自分の役割を考えました。

職場をちょっと体験

働く中学生

黒滝ホームで学ぶ



忠海中学校2年 山元 紗知さん



忠海中学校2年 榎田 晶仁くん



忠海中学校2年 蛭子 大雅くん

みなさんの笑顔にやりがいを感じました

将来就きたい仕事は、まだ具体的には決めていませんが、福祉関係の仕事に興味をもっています。

いろいろな健康状態の人がいるので、接し方も工夫する必要がありますことを学びました。

施設内の掃除をしている時などに、「ありがとうね」と言われると、とても嬉しかったです。将来は、人の役に立てるように、頑張りたいです。

介護の体験以外にもお茶出しや掃除など、普段、家であまりやらないことを体験したので、難しかったです。1日の生活を支援することは大変だと思いました。

体験を通してコミュニケーションの大切さを知りました。ちょっとした時に声かけをすることが安心につながるんだなど。誰とでもしっかり接することができるようになりたいと思います。

介護現場を体験してみて、大変な職場だと思いましたが、利用者のみなさんの笑顔に、とてもやりがいがあると感じました。

期間中、コミュニケーションのとり方を学びました。これからは、目の高さを合わせて話すようにしたいと思いました。

将来就きたい仕事はまだ決まっていませんが、人にやさしく接する大人になりたいです。



←体験3日目。目線を合わせてコミュニケーションすることを学んだ3人は、さっそく実践。安心感が生まれ、利用者のみなさんに笑顔がこぼれます。

車いすや食事の介助でも、相手の立場になることが、安全・安心な支援につながることを学びました。

イメージと違う職場でした

将来は、市役所で働きたいと思っています。市役所は机の上での事務が多いイメージでしたが、いろいろなことをしている職場だと知りました。

初日は、電話の対応や広報紙に掲載する記事の作成などをしました。難しかったですが、何度も教えていただいたので、スムーズにできました。

その他にも、建設課で現場確認をしたり、税務課で税のことを学んだりするなど、様々な部署の仕事を体験しました。

今回の職場体験を通して、仕事は面白いという印象を持ちました。将来、頑張って働きたいと思います。また、相手のことをよく理解できるやさしい人間になって、人との接し方も上手になりたいです。



賀茂川中学校2年 住岡 萌さん



道の駅で市の取組みを勉強



学校施設の使用状況を確認



仕事で欠かせない電話の対応

洋菓子店に行きました！！

中学生が待ちに待っていた「職場体験学習」。初日の6月20日、洋菓子店で学習する宗近さん取材しました。



「今日は、クッキーの生地を伸ばしてチョコをぬりました。すべて均等にするのが、難しかったです。

これから、お店の人みたいに明るく挨拶をしたいです。また、将来パティシエになりたいので、お菓子作りも見たいです。」と話してくれました。

広報紙づくりにも挑戦！

「広報たけはら」の制作を体験。実際にインタビューや撮影、記事の作成にチャレンジしました。(左記事が住岡さんが作成したもの。)

